

2018年1月29日
-記者会見配布資料-

在日執行委員会(JBEC)委員長 パトリック ジョンソン(Patrik Jonsson)略歴



【略歴】

- 1990年 スウェーデン ルンド大学 経営学修士号(MBA)取得
- 1990年 イーライリリー・スウェーデン入社
- 1995年 イーライリリー・スウェーデン 中枢神経系領域ビジネスユニット・マネジャー
- 1996年 イーライリリー・スウェーデン 中枢神経系/婦人科/感染症領域ビジネスユニット・マネジャー
- 1998年 イーライリリー・ヨーロッパオペレーション マーケティング・マネジャー [ジブレキサ](イギリス)
- 2001年1月 イーライリリー・ヨーロッパオペレーション中枢神経系領域マーケティング・ディレクター
- 2001年4月 イーライリリー・スウェーデン 社長
- 2005年 イーライリリー・スカンジナビア [スウェーデン・ノルウェー・デンマーク] 社長
- 2008年 イーライリリー・イタリア 社長 (イタリア)
- 2012年 イーライリリー・イタリア・ハブ 社長 [イタリアを含む中央・南東ヨーロッパ区域を統括]
- 2014年1月 日本イーライリリー株式会社 代表取締役社長
- 2014年4月 米国研究製薬工業協会(PhRMA)在日執行委員会副委員長就任
- 2015年1月 在日米国商工会議所関西支部ガバナー就任
- 2015年8月 女性の活躍推進に積極的に取り組んでいる企業の男性リーダーによる「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」(内閣府主導)の「行動宣言」に賛同を表明
- 2016年1月 米国研究製薬工業協会(PhRMA)在日執行委員会委員長就任



とかしき なおみ

環境副大臣
衆議院議員

昭和大学薬学部を卒業後、薬剤師免許取得。1985年、株式会社資生堂に入社。1992年、同社を退職して、早稲田大学ビジネススクールに入学し、卒業後復職。1999年、在職中のまま東京都杉並区議会選挙に立候補し、初当選。2003年、杉並区議会議員2期目当選。2005年には衆議院大阪7区より小選挙区にて初当選。2009年、衆議院大阪7区にて、**次点**にて落選し、大阪府薬剤師会会営吹田薬局に勤務。2012年、衆議院大阪7区にて小選挙区で2期目当選。その後、厚生労働省大臣政務官、自民党副幹事長、衆議院厚生労働委員会理事、衆議院青少年問題に関する特別委員会理事、衆議院消費者問題に関する特別委員会理事、自民党政務調査会厚生労働部会長代理、自民党組織運動本部団体総局厚生関係団体委員長、厚生労働副大臣などを歴任。2014年に3期目の当選。2016年より、自民党政務調査会厚生労働部会長を務め、2017年、4期目の当選を果たし、現在、環境副大臣を務める。



小黒一正

法政大学経済学部教授

1974 年生まれ。京都大学理学部卒業、一橋大学大学院経済学研究科博士課程修了（経済学博士）。大蔵省（現財務省）入省後、財務省財務総合政策研究所主任研究官、一橋大学経済研究所准教授などを経て、2015 年4 月から法政大学教授。経済産業研究所コンサルティングフェロー。専門は公共経済学。現在は、世代間衡平や財政・社会保障を中心に研究している。参議院「国民生活・経済・社会保障に関する調査会」意見陳述(2011.5)「財政・社会保障の再生プランー財政の持続可能性と世代間公平の同時達成に向けてー」参議院行政監視委員会「我が国財政の現状と政策上の課題」意見陳述(2012.3)「日本財政を巡る課題」

眞島 喜幸

NPO 法人パンキャンジャパン (PanCAN) 理事長。

2006 年春に妹 (当

時 49 歳) を膵臓がんで亡くしたことを契機に、膵臓がんの患者支援団体「パンキャンジャパン」を立ち上げた。現在、米国の PanCAN と連携して膵臓がん患者と家族の支援活動を積極的に行っている。

■ NPO 法人パンキャンジャパン (PanCAN) について

すい臓がん撲滅の必要性を行政に訴え、難治がん克服について働きかけるために 1999 年に設立された米国 PanCAN (Pancreatic Cancer Action Network、すい臓がんアクションネットワーク) の日本支部として 2006 年に設立。以来、より多くの研究支援、奏効率の高い治療方法、予防プログラム、早期発見につながる検査方法を開発することがいかに緊急な課題なのかを一般および医療従事者向けの教育プログラムを通して訴えてきた。PanCAN は、すい臓がんに焦点をあわせた世界で最初の国際組織。

詳しくはこちら : <http://www.pancan.jp/>